

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

ふるさと寺尾の教育目標【学ぶ子、育つ子、てらおの子】
 (学) 探そう知ろう てらおの子 「よく遊び、よく学ぶ」子を育てる
 (心) みんな大切 てらおの子 心、体、命を大切に、自他ともに尊重する子を育てる
 (寺) 寺尾大好き てらおの子 まちの人と関わり 学校や地域を愛する子を育てる

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<協働して課題解決する力>
 <言語能力>
 <自分づくりに関する力>

具体化した資質・能力

中期取組目標

- ①子どもの可能性を広げます…教育課程(カリキュラム)の再編
開かれた教育課程・ふるさと寺尾の教材
- ②魅力ある学校をつくります…社会とつながる学校・学校と家庭や地域との情報共有
研修の充実
- ③豊かな教育環境を整えます…安心して学べる学校
トリムコース・ふるさと資料室・学校図書館
- ④社会全体で子どもを育みます…てらび育て隊・企業や地域との連携・地域交流室・PTA活動の働き方改革
てらび育て隊サポーターズ・授業支援研修会等・係の負担感軽減

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①校内授業交流会の教科を生活・総合を柱に据え、課題解決のプロセスや学びの連続性を意識した授業を目指す。そのために、年度当初に子どもの実態と付けたい力の共通理解を図ったり、研修の機会を作ったりしていきたい。②授業交流会を通して、授業改善と授業力向上を図るために、交流会のテーマや指導事項と関連させながら授業を見るときの視点を示す。
担当	学びづくり部会

学力向上に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>★寺尾の子供たちの実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○素直、仲がいい、一生懸命 △受け身、自信がない、失敗が怖い チャレンジが怖い、経験不足、目立ちたくない、格好悪い <p>★寺尾の子供たちにつけたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体性＝目的意識 ・何のために…? ・自分たちで考える ○表現する力＝相手意識 ・発表の場、交流の場 ・安心して発信できる →自信up、コミュニケーション力up ◎相手意識をもって、自分の考えや思いを言葉で伝える力 ◎他者の考えから、自分の考えや発想を広げたり深めたりする力 	<p>一人ひとりが「本気」になる生活・総合の学びを創る ～学習意欲を高める材をもとにして探究的な単元を展開する～</p>
	目標を実現するための具体的行動プラン
上半期	<p>課題解決のプロセスや、学びの連続性を意識した学習、他社との交流や、材と向き合うことを通して</p> <p>→様々な考えを比較分析しながら、自分の考えを再構築したり、協働的に学んだりする経験をもつ。</p>
下半期	<p>課題解決のプロセスや、学びの連続性を意識した学習、他社との交流や、材と向き合うことを通して</p> <p>→様々な考えを比較分析しながら、自分の考えを再構築したり、協働的に学んだりする経験をもつ。</p>

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①YPなどに年間を通して取り組み、自他ともに尊重する心を育む。②子どもが安心して生活することができる居場所としての学級づくり、学年づくりを目指し、職員研修にに取り組む。③情報を共有し、全職員で子ども達を見守る体制を作る。④異学年交流や集会を状況の変化に応じて工夫し、異学年同士のつながりを築く。
担当	生活づくり部会

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>★寺尾の子供たちの実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○素直、優しい、まじめ △自信がない、自分本位なところがある <p>★寺尾の子供たちにつけたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手意識をもつ ○挨拶ができる子ども ○言葉の使い方に気を付ける。 	<p>相手意識をもって活動し、自他ともに尊重する心</p>
	目標を実現するための具体的行動プラン
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもつために →学年集会やペア学年等の異学年交流に組み込み、いろいろな人とかわる体験をする。 ・あいさつのできる子ども、言葉づかい →児童会活動などを通して意識づける。 ・道徳や学活などの授業の中で、言葉のつかい方を考える。 ・安心して生活できる居場所づくり →YPアセスメントの分析、いじめアンケート等をもとに、それぞれの学級の長所や課題に応じたプログラムを実践する。 ・横浜子ども会議のテーマに基づき、全校で取り組める活動を取り入れていく。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもつために →学年集会やペア学年等の異学年交流に組み込み、いろいろな人とかわる体験をする。 ・あいさつのできる子ども、言葉づかい →児童会活動などを通して意識づける。 ・道徳や学活などの授業の中で、言葉のつかい方を考える。 ・安心して生活できる居場所づくり →YPアセスメントの分析、いじめアンケート等をもとに、それぞれの学級の長所や課題に応じたプログラムを実践する。 ・横浜子ども会議のテーマに基づき、全校で取り組める活動を取り入れていく。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①さらなる体力向上のために、スポーツ委員会等と協力して、主体的に楽しみながらスポーツに親しむことができるような取り組みをしていく。持久性、敏捷性を高めるための取り組みや、教員の「体育授業の指導力向上」を目的とした研究・研修に力を入れていく。②安全に運動ができるように、教材や環境を整備していく。
担当	体育部

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>★寺尾の子供たちの実態</p> <p>【体力向上→体育科より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○素直な性格から、決められた取り組みや授業に対して、真剣に取り組むことができる。 △自らの体力や体の健康に対するの感心が低い。 △授業に対して主体的に取り組む姿には、学年に応じて差が見られる <p>【健康面において→養護教諭より】</p> <p>★寺尾の子供たちにつけたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの体力向上に伴い、学校で学習したことを、家庭でも生かすことができる力。 ○体を動かすことを楽しみ、一人ではなく大人数で活動する楽しむ力。 ○自分自身の体力や体の変化に目を向け、自分にあった運動をする力。 	<p>一人ひとりが「本気」になる生活・総合の学びを創る ～学習意欲を高める材をもとにして探究的な単元を展開する～</p>
	目標を実現するための具体的行動プラン
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携のために →体力テストの結果を個人面談の際に渡し、学校での様子を重ねて話していく。 ・日常の体育の状況にて、気になる点がある場合は、家庭に随時連絡をする。 ・家庭でもできる運動を、授業に取り込んでいく。 ・一人ではなく、大人数で楽しむ楽しさを身に付けるために →個で行う活動だけではなく、グループワーク等を取り入れた授業づくり。 ・自分だけではなく、相手を見て一緒に成長していく雰囲気づくり。 ・自分の体に目を向けるために →スポーツ委員会と連携し、寺リンピックの充実をする(短縄・マラソン活動など) ・体力テスト
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携のために →日常の体育の状況にて、気になる点がある場合は、家庭に随時連絡をする。 ・家庭でもできる運動を、授業に取り込んでいく。 ・一人ではなく、大人数で楽しむ楽しさを身に付けるために →個で行う活動だけではなく、グループワーク等を取り入れた授業づくり。 ・自分だけではなく、相手を見て一緒に成長していく雰囲気づくり。 ・自分の体に目を向けるために →スポーツ委員会と連携し、スポーツ集会の充実をする(鬼遊び・長縄活動など)